

## 平成30年度 第2回東松島市総合教育会議 会議録

- 1 日 時 平成31年3月20日(水) 午後1時15分 開会
- 2 場 所 東松島市役所 本庁舎3階 301会議室
- 3 出席者 東松島市長 渥美 巖  
東松島市教育委員会 教育長 工藤 昌明  
東松島市教育委員会 委員 木村 和彦  
東松島市教育委員会 委員 福田 ゆかり  
東松島市教育委員会 委員 鹿野 あい子  
東松島市教育委員会 委員 松岡 勝久

### (事務局)

東松島市副市長	小山 修
東松島市総務部長	小林 勇
東松島市市市民生活部長	小山 哲哉
東松島市総務部総務課長	小山 隆
東松島市総務部総務課秘書広報班長	櫻井 正則
東松島市教育委員会教育次長	奥田 孝信
東松島市教育委員会教育総務課長	勝又 啓普
東松島市教育委員会学校教育課長	熱海 良彦
東松島市教育委員会学校教育課指導主事	黒沼 俊郎
東松島市給食センター所長	阿部 智浩
東松島市教育委員会教育総務課教育総務班長	奥田 和朗

- 4 傍聴者 5名

- 5 開会

総務課長(司会) それでは定刻になりましたので、ただいまから平成30年度第2回東松島市総合教育会議を開会いたします。開会にあたりまして渥美市長よりご挨拶を申し上げます。

市長 委員の皆様、今日は平成30年度第2回総合教育会議にお集まりいただきまして、大変ご苦勞さまでございます。年に2回、皆様と市民の代表という立場で、市長がお話し合いをする機会といたしまして、私が就任してからさまざまなご意見を伺った訳ではありますが、学力向上問題を含めまして夏休みを短縮があったりと、色々と改善をさせていただいております。ありがとうございます。

教育は非常に難しく、全国の自治体、教育委員会の至るところで、今はいじめ問題や不登校の問題に悩みに悩んでいるのも現実の姿であります。そういう中で、本市におきましては、いじめ問題は大きく何も出てきていない状況ではありますが、しかし、

これもいつ起きるかわからないというのが現実の姿でありまして、やはり工藤教育長がいつもお話しされているように、悪い情報ほど早く相談していただいて、小さい芽のうちに摘み取るということは、非常に大事であると思っております。まさに子供は、情報に満ち溢れておりまして、様々なものがすぐ入手できる状況です。しかし、一方では心の問題で非常に幼いところもあるのが事実で、どちらかという揺れ動いているものが子供にはたくさんありますから、やはりそこは東松島市のようにコミュニティスクールという形で、学校や地域の方々が一体となって子供をしっかりと見守って育てていくというのが大事だと思います。

委員の皆様につきましては、色々な面で本市の教育行政全般にわたってご審議、ご協議いただきまして感謝申し上げたいと思います。今日は、議題として教育環境整備でございますが、これは2月14日から3月8日まで東松島市議会第1回定例会が約1か月近く開催されまして、その中で一般会計につきましては、平成31年度は335億7900万円として、前年度より約14.7%増えております。その大きなものは、どうしても震災復興が残すところあと2年、平成32年度末をもって復興庁が基本的には店じまいをするとなっておりますから、残すところあと2年ということで特に教育関係の復興関連は、鳴瀬桜華小学校の移転新築関係、これはもちろん体育館も含めて校舎を31年度の予算で造りますし、奥松島運動公園の震災復興事業では、これも体育館や野球場、多目的広場となっておりますがサッカー場、そしてマレットゴルフ場やテニスコートを整備いたしまして、そのような事業に大きくかかっております。また、県の事業としては、例えば松島自然の家も今工事が急ピッチで進んでいる状況でございますので、これらも将来的には約1年半後には完成すると思っておりますので、これが出来ると子供たちの教育環境にも大いに活用できると思っております。今回、335億7900万円の一般会計の中の教育関係で、例えばICT関係で電子黒板や電子図書なども遅れないように整備してまいりますし、エアコンにつきましては、昨年は大曲小学校に急遽夏休み前になんとか調達できまして、夏休み後は使用できた状況にありました。残っておりましたのが赤井小と大塩小でございますが、現在もう既に工事発注が始まりましたので、1学期の中頃、夏休みまでにはしっかりと整備できると思っております。また、赤井南小については、いよいよ来年度から大規模改修が始まりまして、仮設校舎を造りますのでその仮設校舎にはすべてエアコンが付くようになります。最終的には、31年度で11校ある小中学校すべて完備することになりますから、県内でも進んでいる方であると思っております。それからALTの関係も、国際化に向かってこれからの子供達を何とか育てていかなければならないし、英語も小学校から導入されるような状況になって、どれだけここに力を入れていくか、まさに政治の中でも大事だと思っております。英語教育指導助手を従来の4名から5名にいたしますが、さらに来年は6名ほどにしまして、しっかりと国際化に対応できるような東松島市の体制を作っていきたいと思っております。私は教育問題、特に学力と健やかに素直に教育道徳を含めて伸ばしていくのが最も大事だと思っておりますので、まずは学力については、震災がらみでやはり仮設住宅の問題、避難所の問題、そういうことを考えると、どうしても勉強する環境が少なかったということを反省しております。しっかりと力を入れていきたいということで教育現場環境をしっかりと作って

いくということでございます。

それから2番目の議題として、小学校高学年の制服と卒業式の袴問題でございます。これは昨年の第4回定例会で一般質問がありました。皆様のところへ答弁書を渡しております。この問題で私とすれば、22年ほど県会議員でありましたが、15年や20年前は袴を着ているというのはほとんどゼロでしたし、ここ10年程前から若干見かけるようになりましたが、1割、2割は袴を着ていてかわいいなあと思ひまして、あまり違和感はなかったのですが、昨年あたりはある学校に行くと9割以上が袴を着ているという状況でありまして、残りの1割の着れない子供はどうなんだろうと見ますと、やっぱり家庭の問題や経済問題等もありまして、それはちょっとどうかということで教育長さんと話しました。家庭の問題で、あえてここまでしなくないのか、あと一方では、東松島市の児童の給食費の補助の問題などで、やはり震災後かなり多い率に達している中で、その状況というのは義務教育の小学校の卒業式として、公立学校の卒業式としてどうでしょうかという疑問があつて、問題提起させていただいております。これについて、ぜひまた今日皆様にお知らせして今後の対応を進めさせていただきたいと思っております。

それから、3番目の学校給食問題でございますが、これも新聞報道で県内自治体の学校給食で栄養不足があつたということがありまして、調べてみると東松島市もあるということでした。これも一般質問で議会の方からも求められておりまして、鉄分などの栄養素で少ないものがあつた訳ですが、全体として改善できるものはすぐしましようとしております。給食の問題というのは、やはり食育と称して特に残食の問題も結構そこにはある訳ですし、また無理に食べさせるということも人権の問題も出てきますが、しっかりとしたものを作っている人に対する感謝というのがあれば、もう少し減るのではと思っております。給食単価を上げていけばそれはそれで良いという方もおりますが、現在の東松島市の給食単価は、決して県内では低い方ではないところに位置しておりますので、しっかりと議論していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

今日は、年度末、3月ということ色々と忙しいさなかにご出席いただきありがとうございます。今日のことで一つお話しさせていただきますが、ちょうど来年の今日、3月20日、航空自衛隊松島基地にギリシアアテネからオリンピックの聖火が午前中におそらく到着する予定で、いよいよオリンピックの聖火もカウントダウンに入っていくと感じております。3月20日にオリンピックの聖火が航空自衛隊松島基地に到着する日になりますから、頭に入れていただきたいと思ひます。大変ご苦労さまでございます。

## 6 議事

総務課長（司会） それでは、早速議題に入らせていただきます。総合教育運営要綱第4条第2項の規定により、市長に議長をお願いして進めてまいります。それでは、市長よろしくお願ひします。

市長（議長） それでは、要綱の定めるところによりまして、議長を努めさせていただ

きます。よろしくお願ひいたします。それでは議題として、今日はその他を含めまして4つですが、まずは(1)教育環境整備について、事務局から説明いただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

<(1)教育環境整備(ICTの活用、エアコンの設置、ALTの増員など)について学校教育課長、教育総務課長より説明>

市長(議長) ありがとうございます。ただいま説明が事務局よりありましたが、ご質問等ありませんでしょうか。はい、松岡委員。

松岡委員 デジタル教科書について、来年度から導入されるということですが、一度報道で見たことがあるのですが、非常に使い方に苦勞されている学校が多いということが報道でありました。先進地は確か大河原町で、授業で使っているところを皆さんが視察に行かれていますという報道でしたが、そこは宮城県内でも学力がずば抜けて高い唯一の町だということ、使い方に苦勞せず工夫して研修会等々を非常に行っていることを聞きました。ぜひ、教師の皆さんの使い方の研修を、工夫して活用する研修会ということをご取り入れていただきたいと思っております。

学校教育課長 算数、国語、社会科での導入を予定している訳ですが、例えば小学校において、45分間の授業時間がありますけれども、やはりどの場面で一番活用するのが効果的であるのかということ、きちんと考えたうえで活用しなければならないと思っております。毎回授業においては、ねらい、目標がありますので、この目標に到達するためにデジタル教科書を、例えば今日は導入の場面、あるいは考えさせる場面、あるいはまとめの発表の場面で使うなど、そういった使い方の研修も強化してまいりたいと考えております。

市長(議長) やはり教頭先生や校長先生が時間を見て、しっかりと活用しているかどうかということ、誰かがチェックしておかないと最初ですので、十分な対応が必要ではないかと思ひます。任せきりだと、あとほどのようになっているのかと松岡委員が心配したようなこととなりますので、出来るだけそのような方法を含めまして、教員の皆さんの研修と使い方研修について、よろしくお願ひします。

その他に委員さんありますでしょうか。はい、木村委員。

木村委員 ICTの件なんですけれども、デジタル化ということは、今度教科書を選定するうえでも我々委員として考えていかなくてはいけないので、全教科書を発行しているところがデジタル化している訳ではないと思ひますので、その辺の情報というのがありますでしょうか。

学校教育課長 正直申し上げますと、それほど詳しくはないのですが、現在使っている東京書籍は、大手の教科書会社でございます、必ず東京書籍でなくてはならないと

いうことではありませんが、現行使っている教科書が東京書籍ですので、やはりそれに連動した東京書籍のデジタル教科書ということで、今のところは考えております。ただ、もし今後、教科書会社を変える場合には、やはりその会社に応じたデジタル教科書になるのが効果的だと思っております。

工藤教育長 教科書採択は今年小学校がありますので、その時の資料として当然デジタル教科書というものを持っているかどうかということ、教科書会社からの提供があるかと思っておりますので、その辺も十分視野に入れた検討をしていただくということになると思います。

市長（議長） その他、今の（１）番目の問題よろしいですか。教育環境整備、ICTの問題、エアコンの問題、ALTの問題についてよろしいですか。なければここで（１）については終了したいと思います。続いて（２）小学校高学年からの制服導入及び卒業式の袴着用について議題といたします。まず事務局の方から説明願います。

<（２）小学校高学年からの制服導入及び卒業式の袴着用について学校教育課長より説明>

市長（議長） はい、今説明されたことですが、袴等の問題、制服の問題は、一般質問で質問されておまして、１２月定例会の私の答弁書がお手元に入っております。これらも参考にしながら、ぜひご議論していただきたいと思っております。ただ今の事務局の説明に対してご質問ありましたらどうぞお願いします。はい、福田委員。

福田委員 制服の問題に関しましてご質問したいのですが、もしこの後、制服化を取り入れた場合、この制服に対しての校則やそういうような決まり事というものは作っていくのでしょうか。もし、そういうものがないと制服自体を変えていくということが考えられます。個性というものを履き違えてしまうことも考えられますので、もしくはその制服を自分なりにアレンジしてしまうようなことも考えていた方が良いのではないかと思うのですが、その辺はどう考えているかお伺いしたいです。

教育長 まだ、全くそれは検討もしていないといえますか、これからその辺も含めまして、制服をもし導入した場合にはどういう課題があるだろうか、それをどうすれば解決できるのかということも考えなければならないと思っておりますので、福田委員がおっしゃったようなことも大変大事なことになるかと思っておりますので、その辺も含めて皆様に議論をしていただければと思っております。

市長（議長） まずは、このアンケートでどういう保護者の意向があるのか、制服導入について、前に先生方のアンケートでは基本的には反対のようでありまして、もちろん公立小学校の制服というのは、この辺では流行っていないものですから、全く先生方は見たこともないと思われまして。ただし、関西の方などでは公立でも制服であった

り、もちろん私立の小学校、中学校はすべて自前の制服があるというのが通常であります。今回のテーマは、先ほど言ったように袴と連動して、袴で5万円も4万円もかけるのであれば、まずは制服で3万円や4万円の制服を着て、年間の秋、冬、春は学校生活を送られたり、修学旅行や学校の行事、家庭での様々な冠婚葬祭などもその制服で十分できるのではないかと、その方が負担軽減できるのではないかとこの意見があったものですから、こちらも市ですぐ導入するとかではなく、まずは意向調査をしてみ、賛成であればそれぞれの学校毎などで導入する可能性もありますし、ある学校では反対であるというのであれば導入しなくてもこれはできない訳であります。しかし、どこかの学校で導入してみたいとなれば、その学校が導入する可能性もありますので、これは今からのアンケート結果次第ではないかと思っております。また、校章や市のマークなどを入れることも、それぞれ学校毎に検討するのではないかと私は思っておりますが、これもアンケートでこれからの意向を確認していくということで理解いただきたいと思っております。他にありますか。はい、鹿野委員どうぞ。

鹿野委員 この卒業時期になりますと、やはり親にしてみれば卒業式にどのようなものを着せたらいいのかと心配になるのは当然ですし、私もそういう過程を経てきました。ただ、皆さんあまり小学校で華美になっても困るし、だからといって子供達の人生の節目の式の時に、普段の服を着てもということで、あらたまった式ということで少し格式高い感じで服装を用意なさっていると思っております。ですが、いただいた資料を見ますと、各学校共に生徒の和装の人数、洋装の人数に格差がある様にも思います。ですから、もう少し各学校のご父兄の方々で一体今後どのようにしていったらいいのかということ話し合う機会をもう少し設けられて、十分に話したうえで制服にした方がいい、自由な服装がいいという意見が纏まってくるのではと思っておりますので、もう少し時間があつた方がいいのではないかと思います。

学校教育課長 今、鹿野委員がおっしゃったように、今年度の実態を見ましても各学校でそれぞれ実態が異なっております。先ほどお話ししたアンケート調査の結果を踏まえて、やはり市長からもお話しがあつたように、各学校にまず調査結果を踏まえて卒業式の服装のあり方について、しっかり話し合う、熟議するという資料として活用していただければよろしいのではないかと考えております。

市長（議長） 今ありました小学校高学年の制服導入及び卒業式の袴着用ですが、この資料を見ても例えばA小学校の場合は、去年は32人でしたが、今回は6人ということになります。あとは、逆に増えているのがF小学校は依然として昨年22人が25人に増え、G小学校はゼロになったということになりますし、意外とD小学校が12人から18人と増え想定外でありました。やはりそれぞれの学校の校長先生や担任の先生方との話しがどの程度進んでいるのか、またご父兄の考えや学校毎にカラーがありました。まずは意向を確認する必要があるということで、教育委員会としては、これは議会の一般質問に教育長が答えている案件でございますので、この様な形式でアンケートを取らせていただきたいということでもありますので、異議なければよろしい

でしょうか。

各委員 異議なし。

市長（議長） はい、ではこの様な形式で進めていきたいと思っております。また、この教員の皆さんのアンケート調査結果がありますが、これも実はアンケート調査をした時はかなり忙しくて、とにかくアンケート調査を実施するということでしたが、教員の皆さんでわからないとの回答が17%という結果に私は逆に驚いております。やはり今回、一緒にご父兄と同じようにアンケート調査を実施してもいいので、環境が変わりましたのでいかがでしょうか、教育長。

教育長 おっしゃる通りだと思いますので、この時点で、今回保護者のアンケートもですが、4月のPTA総会などの機会に校長先生から、この卒業式の服装についての学校の考え方もお話ししていただいて、その後アンケート調査をして結果を見るということになっておりますので、併せて学校の先生方の調査もする様にしたいと思います。

市長（議長） よろしいでしょうか。では、ただ今の（2）番については、小学校高学年の制服導入と袴着用についてのアンケート調査を行うということでよろしく願います。（3）番の食育関係、給食栄養素不足について事務局説明願います。

<（3）食育（給食の栄養素不足）について学校教育課長、給食センター所長より説明>

市長（議長） はい、これに対して質問ございませんか。はい、木村委員。

木村委員 残食についてですが、残食率が12%ということだんだん減ってきているということではありますが、目標残食ゼロということで目標を立てるということでもあります、やはり残さないということの大切さということ、もう少し心の内面から子供達へお話しをしていただいて、本当にゼロに近くなるようにみんなで頑張っていたらと思います。学校だけではなく市町村全体で取り組んでいる街もありますので、子供達だけに食べ残さないようにと指導しながら、ご家庭で食堂に行かれた際にたくさん注文され、それを残されたり、宴会で食べていたものを残して帰ってしまったり、やはり大人の世界を見ているので、我々大人も残食に対してもう少し真摯に取り組んでいけたらと思います。

市長（議長） これに対して教育委員会どうでしょう。改善策も含めてありますか。どうぞ、熱海課長。

学校教育課長 現場教員の長い経験からお話ししますと、1年生を担当したこともありますが、各学校の担任も行っていると思いますが、例えば担任が苦手なものが出て、

ここは役者になっておいしいねと一緒に笑顔で担任も食べるところが結構大きかったです。それから全部必ず食べなさいということではないのですが、もし全部食べたことでご機嫌をとったり、すごくオーバーに褒めますと隣の子も頑張って食べようとするのです。あるいは、自分たちが畑で育てた野菜だったりするとオーバーに自分達で育てた野菜はすごくおいしいねといったような、やはり内面からということと言えますとこういうことも入るのではと思っております。

市長（議長） 私の感想を若干述べますと、例えばこの表を見ますとC学校やG学校、中学校ではJの学校は、ほとんど食育教育をしてないのではないのでしょうか。熱海課長の言うとおりに指導していれば残食率が減るのではと思うのです。残食率が高いままということは、全くしていないということになると考えます。だから、15%以上の学校をちょっとチェックしただけでも、この学校は給食センターの栄養士さんが、学校に行って食育というものが何のために給食を出しているか、そして給食を残したらどうなるのか、餓死している国がこれだけあることにどう思うかということ、給食を食べることにより体にどう影響するのかを、残食率が高い学校を少し中心に栄養指導に行ってもらえればと思います。例えばHの小学校はすごく頑張っておりますので、まずは残食率の高い学校をしっかりと指導してもらわないといけないと思います。誰かが食べないことでスタイルが良くなるのと言っているかもしれませんが、そのことにみんな同調しているかもしれません。食べる大切さや食育をもっとしっかりと指導しないと、我々の年代からすると作っている人達に申し訳ないこととなります。ぜひ、そのような指導を徹底して、今後教育委員会でも学校給食センターで、もしかすると会議などもするかもしれませんから、よろしく願います。ここまでは、これでよろしいですか。はい、教育長どうぞ。

教育長 色々のご助言ありがとうございました。市長のおっしゃるとおり、学校が努力すると結構残食が減る場合があります。先ほど所長の説明があったように生産者との繋がりなども今、総合的な学習の時間やあるいはコミュニティスクール関連でかなり地域との関連、密接になってきておりますので、例えばK中学校は、非常に成績がいいですが、数年前までは17%程度ありました。少し学校の姿勢が変わってすごく減っております。これは、努力するように指導していきたいと思っております。ありがとうございました。

鹿野委員 提案させていただきたいのですが、小学校において、鉄と食物繊維が指摘されておりますが、鉄分は非常に吸収しにくい食物であるので、給食ばかりに依存せず、家庭でも少し鉄分を多めにと食事に配慮していただくとよいのではないかと思いますので、毎月献立表を配布されておりますが、献立表に例えば今年度栄養素不足でしてきされているので、鉄分を含む食事などの例を掲載し、家庭でもできるだけ多くとるように努めましょうと啓発してもよいのではと、一個人として思ったものですから提案させていただきます。



給食センター所長 給食センターでは、給食便りで食材の栄養素について、それぞれ掲載はしております。これを各家庭にも配布してますし、ホームページにも掲載して広く周知はしているところでございます。

鹿野委員 掲載しているのは私も見させていただいているのでわかっておりますが、特にこの様な点を指摘されたので、今年度はその項目に絞ってしてみようなど、工夫してはいかがなものでしょうかという提案でございます。

給食センター所長 今年度、栄養士と協議しまして、掲載するようなことで進めたいと思います。

木村委員 もう一つ提案であります。毎日給食の写真を撮っていただいて、画像をホームページに掲載していただきたいという親御さんからの話がありましたので、できればお願いしたいと思います。

給食センター所長 この件につきましても、栄養士と協議いたしまして可能であれば掲載したいと思います。

市長（議長） はい、よろしいですか。その他、今の食育についてございませんか。よろしいですか。では、ないということで（3）を閉めたいと思います。それから（4）でその他がありますが、委員の皆様、何かこの機会でございますから市長に対しても結構ですから、何かありましたら教育委員会全体の話しに含めてどうでしょうか、ありませんか。はい、松岡委員。

松岡委員 非常に議会で学力向上についての質問が多いと、私は答弁書などを見て思うのですが、質問する方も、では学力を上げたらどうしたいのかということが見えないのです。結局、学力が上がったら何だという話しになるのですが、だから東松島市にとっていったいどんな人材を育てたらいいのかという部分を、我々教育委員会も議論していかななくてはいけないのですが、学力向上が全てではないという部分があると思います。その議論が議員の皆様にも、夏休み短縮したからすぐさま結果が出るものではありませんので、ぜひお話ししていただきたいと思います。

市長（議長） 市長に対しての応援だと思っております。ありがとうございます。教育長も学力だけではなく、要するに最終的に人づくりですからということをよくお話ししているのですが、ただ現在の東松島については、県の平均より、例えば全国の平均よりとにかく5点や10点落ちているものもあるので、早くそこは県平均並みにとれないかということが質問の趣旨だと思って聞いていただきたいと思います。一気に成績が上がる訳もないですし、夏休み5日間勉強しただけで出来る訳でもないのですが、ただ、市としての姿勢は、県平均を目指すという最低でもそれだけは理解して欲しいと思っております。その他ありませんか。はい、福田委員どうぞ。

福田委員 今の松岡委員がおっしゃったことに少し関連するのですが、やはり一概に最近では学力向上という気持ちはすごくわかるのですが、この間の定例委員会の中でも少しお話が出たのですが、やはり言葉の幼さやコミュニケーション能力の低下が最近著しく感じるところもありましたので、これからの学力向上ももちろん大事なことです。そちらの方も力を入れていきたいというところがあると私は思っております。コミュニケーション能力が高まれば自然とやはり人の気持ちもわかるし、わかるということに繋がるといじめ問題であったり、その他の心の問題でも繋がっていくと思うので、その辺もやはり一緒に私達と考えていただければと思っています。

市長（議長） わかりました。ではよろしいですか。以上で予定の議題についてはすべて終了いたしました。これで議長の職を解かせていただきたいと思います。ご協力ありがとうございました。

総務課長（司会） それでは、閉会のご挨拶を工藤教育長にお願いしたいと思います。

教育長 大変常々お忙しいところを今日は市長はじめ、総合教育会議にご参加いただきましてありがとうございました。また、今日は大所高所からの技能を、普段教育委員会の委員だけではなかなかできない議論を、市長にお進めいただきまして、かなり活発に意見が出ましてよかったと私は思っております。市長のおかげでもありまして、ハード面での整備が非常に進んできておりますので、やはりソフト部分は、教育委員会の仕事だと思っております。子供達の学力向上も心のケアの部分も大変大事な問題でありますし、私、今非常に意識しているのは、幼児教育の重要性でございます。教育委員会はどうしても中央幼稚園もございませうけど、小中学校に視野をあてて議論することが多いですが、その前の段階のまさに0歳から5歳くらいまでの段階で、愛着を受けて、愛情を受けて育った子供達は、あとの成長が違うと言われます。また、デンマークの森の幼稚園などでも幼児期に森の中で成長した子供達は、その後の伸びが違うということをおっしゃりまして、森の幼稚園は、生まれてすぐ登録しないと入れないくらいの人気だと聞いております。そういうことで、保健福祉と協力して教育委員会が、子供達の成長にこれまで以上に目を向けながら、これからも努力していきたいと思っております。なお、ちょうど1年後の3月20日にオリンピックの聖火という話しをいただいております。そういう日になったと灌漑深く思っております。ぜひ本市の子供達が、聖火到着を直接まじかにできるように市長のお力、何とか実現できるようにお願い申し上げまして閉会にあたりましての挨拶にさせていただきます。どうも今日はありがとうございました。

総務課長（司会） それでは、以上で平成30年度第2回東松島市総合教育会議を終了いたします。大変ご苦労さまでございました。ありがとうございました。

7 閉会 午後2時25分